

会 議 議 事 録

会 議 名	令和 3 年度 学校関係者評価委員会		
開 催 日 時	令和 3 年 6 月 20 日（日） 10：00 ～ 12：00		
会 場	東京医薬専門学校 第 1 校舎 10 階基礎工学実習室		
参 加 者	委員等	6 人	（参加者名） 卒業生代表：田園調布中央病院 橋本 敦 様 業界代表：同愛会病院 加藤 亮 様 ：柏戸病院 古川 哲也 様 ：粘土科学研究所 手塚 平 様 ：コクミン 嶋本 智明 様 地域関係者：葛西仲町町会 高橋 茂夫 様 東京医薬専門学校：学校長 須田 英明 副学校長 石橋 佳子 本部長 小川 昭久 事務局長 居関 暁昌 教務部長 仁村 将大 教務部長 大山 遥 キャリアセンター長 福田 昌彦 学生サービスセンター長 鈴木 保夫 広報センター長代理 松沼 成央樹 （欠席） 保護者代表 1 名、業界代表 1 名、高等学校関係者 1 名
	事務局	9 人	
会 議 録	（1）学校長挨拶（須田） 本日はお忙しい中、コロナ禍、梅雨の最中、日曜日の中、学校関係者評価委員会にご出席いただき大変ありがとうございます。昨年はコロナ遅延 7 月 11 日に開催して 1 年が経ちます。委員の皆様は本校に対するご助言、ご意見頂き、深く御礼申し上げます。 学校教育というのは学内よりも学外から見た方が色々なもの見えてくる面があります。外部の方からご意見を頂戴できるというのは改善改革に行いやすいことがあります。本日は忌憚のないご意見をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。 （2）委員自己紹介（各自） 上記出席者の自己紹介を実施 （3）学校関係者評価委員会趣旨説明（居関） 専門学校は学校制度の中、専修学校専門課程に該当します。専門学校数は現在 2,779 校、職業実践専門課程は 1,070 校になります。		

職業実践専門課程には幾つかの条件があり、1. 学科ごとに教育課程編成委員会を設置しカリキュラムを構成、2. 企業等と連携して演習・実習等の授業の実施、3. 企業等と連携して教員研修の実施、4. 企業等が参画して学校評価の実施、5. それらを情報公開することとなっています。

本校では 12 学科の内、10 学科が職業実践専門課程となっています。1 年制課程の学科は対象外になっているので、対象の全学科が認定されています。

本日の学校関係者評価委員の目的ですが、昨年度 2020 年の評価を本校で自己点検自己評価をさせていただき、事前に皆様に送付させていただきました。本日はその自己点検自己評価に対して、評価していただき、客観性を持ち、今後の学校運営の改善のための助言をいただきたいと思います。

自己点検自己評価の項目は 10 項目あります。

1. 教育理念・目的・育成人材像、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 教育成果、5. 学生支援、6. 教育環境、7. 学生の募集と受け入れ、8. 財務、9. 法令などの遵守、10. 社会貢献

また、2020 年度の評価と併せてコロナ禍の 2020 年度運営の報告をさせていただきます。

現在、新校舎設立中でして、看護学科を新設し、救急救命士科、臨床工学技士科が移転します。本校の中で他校では類を見ない学科の化粧品総合学科が人気でして、肌に悩みを抱えている方が多くスキンケアを特化したスキンケアアドバイザー科を新たに設置し、言語聴覚士科 2 年制を昼間部へ、歯科衛生士科を定員増していきます。2023 年にはバイオデータサイエンス学科 4 年制昼間部を設立します。

(4) 評価

1. 教育理念・目的・育成人材像、2. 学校運営（居関）

お手元の評価表につきましては、自己点検自己評価を抜粋しているもので、本日はこの評価表に基づき、2020 年度コロナ禍での取り組みを中心に説明させていただきます。

まず、教育理念ですが、お手元の滋慶学園グループパンフレットにもありますが、滋慶学園は現在 80 校あり、本校はその中の 1 校であります。学園の「建学の理念」、「4 つの信頼」などをベースとして学園全体として強い理念や教育方針に基づき、「教育理念・目的・育成人材像」「学校運営」については、概ねできていると思います。

1-1-3,4 については、2022 年度より看護学科を新校舎にて開講します。現状の救急救命士科、臨床工学技士科も新校舎に移転し第 4 校舎となります。看護学科の計画申請が受理をされていて学園として教育理念、学校運営の基盤があるのでしっかりしていると評価しています。

3. 教育活動、4. 教育成果、5. 学生支援、6. 教育環境の教育部分（仁村）

教育活動の軸は「楽しい授業」「新しい学び」です。楽しい授業とは、授業が「わかった・できた」といったことで自信をつけてもらうことを目的としています。新しい学びとは、産学連携、ICT 教育、多職種連携です。

	コロナ禍での授業ではオンライン授業、分散登校で継続をしています。教育の実績として、中途退学者は47名4.4%、卒業生数399名95.5%、国家資格の結果で100%学科はあるが、昨年度より落としてしまった学科が多い、理由はコロナ禍における低得点者の底上げが難しかった（オンラインによる理解度、メンタルタフネス、臨床実習経験の乏しさ（知識技術理解、職業観モチベーション、メンタルタフネス）等が挙げられるので、2021年度はアウトプットをさせる機会を増やすとともに臨床実習に行けるような体制を取っていく。 4. 教育成果、5. 学生支援の就職部分（福田） 就職についての結果は年度末3/31では93%、本日時点で残り2名となっている。コロナ禍で大きな影響を受けたのが医療事務系の求人であった。企業系はそもそもの求人が少ないことが課題である。 2020年度新たに実施したものは、オンライン説明会の実施、オンラインにて就職指導（履歴書指導、面接指導）、ポータルサイトを使用し、ツールのデータ化を行った。 国家資格系は学内説明会の規模縮小、就職活動の動機付けの遅れが原因。非国家資格系は採用求人の減少、採用時期の早期化に伴う就職活動の遅れ。今後の対策としては、就職活動スケジュールの早期化、キャリア授業の充実をさせていくことや、オンライン就職支援の強化。企業系の求人確保が挙げられます。 7. 学生の募集と受け入れ（松沼） コロナ禍により社会人と言われる既卒層が減少し、定員に達していない学科もあり、学校全体としても定員に達していない。 オンラインでの募集活動を実施し、感染対策をしながら行っている。 2021年度の募集は新たな学科の募集も始まり530名が定員となります。 5. 学生支援（鈴木） 修学支援新制度がスタート。給付型奨学金と授業料等の減免となる。財務状況等の要件から適正校の認定を受ける必要があります。制度の対象者は住民税非課税世帯や社会的養護を要する学生。高校卒業から2年以内、評定平均3.5以上。毎年家計と成績の適格審査がある。 2020年度86名 2021年度88名となりました。従来の貸与型奨学金とは異なり卒業後負担の軽減に繋がると考える。 （高橋様、手塚様） 項目が多く、どの項目を説明しているのか、わからない。 （小川） 意見を受け、評価表上での補足を致します。 2.学校運営に関してはコロナ禍での事業計画も見直しをしました。 6.教育環境の海外研修等についても、現地の方と繋げたオンライン教育を行っている。
--	---

- 7.学生の募集と受け入れについては、東京医薬は少し学生数を減らしたが、学園全体としてもコロナ禍でも入学者については影響を受けず、コロナ2年目に入り、オンラインと対面で行っている状況であります。
- 8.財務については、学校ホームページに掲載しています。
- 9.法令順守については、個人情報保護については外部認証制度を受けています。
- 10.社会貢献については、コロナ禍により全く行うことができなかった。ボランティア等踏まえた地域の方々を行うことができなかった。

(嶋本様)

就職活動について、インターンなどもルールを守って行ってきたが、早期にオンラインで行うとか活動の変化などあればご指示いただきたい。

(福田)

くすり総合学科の学生は、1年生秋ごろから実習で経験を積むが、そこが就職先になることが多くない。実習したところが就職となることが望ましいこと。実習先として受け入れて頂いているところは、早い段階で求人情報等は提示して頂いている。

(橋本様)

コロナ禍で大変な中、活動をして頂いてありがとうございます。

実習に代わるものはどのようにおこなってきたのか、保護者との連携の取り組みがあれば教えてください。

(仁村)

学内実習では、症例をもとにグループでアプローチし、そのために必要な知識・技術を行い、自分たちの考えを発表するという機会を設けた。その発表の際には実習先の方々に来て頂き、評価や現場ではこういうアプローチを行うというような助言を頂きた。

保護者との連携は、個々での対応はもちろん、昨年度の全体に関する授業運営などを中心に文書で通知をし、オンラインで保護者会などを行いました。

(橋本様)

大変な中ですので、お体に気を付けて頑張ってください。看護学科の設立は非常に楽しみにしています。

(加藤様)

学生の実習の件で、PCR 検査、ワクチン接種をすれば受け入れますよという話が多くなってきた。就職に関しては直接面接が繋がりやすいと感じている。

(仁村)

実習先とのやりとりで、PCR 検査をして陰性であることを確認できるものを用意するという要望がある。またコロナワクチン接種をその実習先行うことがまた最近増えてきた。

(加藤様)

江戸川区の病院であります。看護学科の設立を踏まえ、職域接種を行うことで地域貢献にも繋がっていてありがたいです。

(古川様)

社会貢献は学生にとって極めて重要なことではないかと思っています。コロナ禍でできなかったことが多いと思います。今後、そのような活動があれば教えて欲しい。

(仁村)

現時点でこの状況下では積極的に学校として支援できるとは言い切れない。ご案内を頂いても、本人やご家族の理解が最終的な判断としている。

地域貢献という点では、学内にことばの教室を開催している。言語聴覚士の教員がことばのリハビリを行っている。そういった活動を本来なら学生も中に入っていることをしたいが、今は隣の教室で映像を見て、教員たちのアプローチなどを学ぶ機会というのを見ている。また状況に応じて対応していきたい。

(古川様)

貴重な体験なので、大事にしてあげてください。

(4) お礼の挨拶 (石橋)

看護学科の設立に期待して頂きありがとうございます。いよいよ本申請となる。

7月20日から日本看護学校協議会の研修として使用していく。現時点では4名の教員がまた今後教員が増えていく予定です。看護師の養成カリキュラムが改正となり全国変更となる。地域に根差す、急変時に対応できる看護師を養成していく。他学科との連携、多職種連携を実施していきます。

(5) お礼の挨拶 (須田)

次年度以降、評価委員の方々が評価意見を書きやすいように変えていきたいと思っています。ありがとうございました。

(6) お礼の挨拶 (小川)

それぞれの立場から学校に期待することや意見を頂く場としたい。次年度は事前の説明をしっかりと行ったうえで開催をしたい。今後ともよろしくお願い致します。

以上